

目標へ日商1級合格



曾於高卒・高松さん「大隅初」

2月にあつた日商簿記1級と全国経理教育協会（全経）簿記上級の検定試験の二つに、曾於高校を今春卒業した高松歩香さんが合格した。ともに社会人でもハードルが高い難関資格。高崎商科大学（群馬）に進学、公認会計士を目指して勉学に励んでいる。

同校によると、大隅半島の高校で、日商簿記1級の取得は初。

高松さんは大隅中学校3年のとき、社会科の授業で税金など世の中を支えるお金の動きに興味を持

難関の二つの簿記検定試験の合格証を手喜ぶ高松歩香さん

全経上級と2冠

つた。曾於高校商業科会計コースに進学。授業のほか、簿記部や県内の高校生が大学の教材を使って学ぶプロジェクトにも参加、勉強を重ねた。

1級は4回目、上級は2回目の挑戦だった。1点及ばず涙をのんだこともあり、基礎からやり直したという。

簿記部顧問で担任の角祥平教諭（37）は、「目標へのこだわりが強く、負けず嫌い」と評価。高松さんは高校での学びは楽しかった。合格できたのは先生や親、友人など周囲の支えがあったから」と感謝した。

（中島裕一郎）